

## 【静岡なかはら幼稚園】

### ●2022.10.14 ふりかえり(スタッフ 4 名)

ちかりん:今日は五感を使って草花で遊んだり、生き物と触れ合ったり、面白いものを発見したりする。楽しさに気づくということで、どの子も今より草花や虫を触ったり、近づいたりできるようになる、園でもたくさんの発見ができるようになるってところがねらいでした。皆さんのグループはいかがでしたでしょうか。

今日結構いろんなことをして遊んだんじゃないかなと思って、今日のねらいに近づくために意識した声かけってところと、あと、どんな遊びが生まれたかっていうあたりを言っていたら、最後今後への見通しみたいなものを教えていただけたらいいかな。

じゅんじゅん:はい。最初桜の木が一番向こうの遠いところの方まで歩いて行って。なんか虫を探したいって人がいたので、子ども達の希望に合わせられたらと思って。でも、探すのはいいんだけどばあっと走り回っちゃうものだから、走ると虫は遠くに逃げちゃうよっていうことをお知らせして、そおっと歩いてごらんって言って。そこからやっぱり虫を捕まえられる子と苦手な子がいて、でも触りたいって言うから、手を出してごらんって言って虫の手の中に入れてあげて。そういうところから色々やってみました。見ただけで「虫こわ〜い」って言う子がいたから、この虫さんはこわくないからねって言ってそうと見せてあげたり、虫が飛んで行くとバイバイって言ったりしてやったら、少しは慣れてこわいって言葉は出なくなってきたかなと思います。あとは、虫さがしもしつつ草花にも目を向けたいなと思って、切手の形に絵が描いてあるやつに色づけをして、そしたら「この色はピンクになるかな」とか「黄色になるかな」って、自分達で見つけて試してみたいって気持ち子どもたちの中で出てきたように思います。で、今度トトロの道の暗いところ入るのどうかなと思って行ってみました。暗いところがちょっと怖がる子もいたんだけど、なんかこう好奇心がすごくあるので行けたし、山道も登れました。その途中でこれを見つけたとか虫を見つけたとかいう風に、自分達でどんどん言ってくるようになったので、発見する楽しさも感じられたのかなと思います。あとは、落ち葉でカサカサしたり、綿毛を飛ばすのをやったり、あとは葉っぱをくっつけたり。葉っぱをくっつけるのもいやがる子がいたんだけどね。

だから園に帰ってから遊びにつながるかどうかっていうと、わからないんですけど、自分達で見つけようって気持ちにはなったんじゃないかなと思います。

こばちゃん:うちの班は、虫にちょっと焦点を当ててみようと思ったんだけど、子どもたちの中では全然そういうの言わなくて、葉っぱを触ったり見つけたりすることにして。なので最初に桜の葉っぱのきれいな色に気づくんじゃないかと思ってそこに連れていったら、やっぱり子ども達もこんな葉っぱ見つけたとか、きれいだねという発見がありました。その中に虫食

いの葉っぱがあって、そしたらこれ何に見えるとか言って拾ったら、幽霊に見えるとか、ひとつめこぞうに見えるとか、あとは枯れたものがあったり。あとはどこに落ちてたんだろうって言ったら意外と子ども達わからなくて、上を見てごらんって行って木を見上げたり。あとはみんなで、葉っぱを1枚ずつ拾ってきて、じゃあ、みんな木になろうと、高いところから葉っぱを落としたりしたらどんな風に落ちてくるだろうって言って落ち方を楽しみました。その後



は、女の子はやっぱり花がきれいだって言って、ツユクサを見つけた子がいたので、じゃあこれ色がつくかなってやってみたら案の定色がついた。そしたら、じゃあ黄色の葉っぱでも色がつくかなみたいな感じで広がっていった。あとは私がわざと帽子にくっつき虫をつけてたら、男の子が帽子になにかくっついてるのって聞いてきて、じゃあこれがどこにあるかなって言ったんだけど、なかなか

わからなくてみんなで探しました。同じくっつきむしでもくっつかないものがあったって、黄色い花が咲いてるからつかないんじゃないのって、それで、じゃあみんなでちょっとやってみようって、やったらやっぱり黄色いのはつかなくて。あとは私の服にはあんまりつかなくて、先生の服にはつくから先生にみんなくっつけて。あとはオオバコ相撲をやって、私が「あ、負けちゃった」って言うとみんなにここにこして。そしたら今度は枯れた棒を持って棒で勝負しようって行って形が変わっていったので、後で先生と公園でもできるねなんて話したんですけど。

その後山に行ったんだけど、溝をぴよんと飛ぶのを何回もやる子もいれば、1人女の子がどんどん行っちゃう子がいて、だいぶ差がついたりしたんだけど。ちょっと待って、ハチがいるかもしれないとか言ったらみんな一緒にソロソロ歩いて、鳥がいるから見ようって言って静かに見たりしました。

まあ、幼稚園に帰ったらどんな風な形で広がるのかはちょっと気になったんですけど。さっき言った相撲と、あと色ぬりえの紙を先生に渡したんですけど、これを公園とかでいろんな葉っぱなんかを使ってできるんじゃないかと思います。



ひろじい:今日はね、一応チャレンジしようかって、崖のぼりの方に行ったら男の子 2 人しかやらなくて。それで先生が違う道を回って行って上から写真撮ろうと思ったら、もうとっくに上がっちゃってびっくりしたんだけどね。でも、あとはまあ、とにかく道の途中でクモの巣をみたり、クサギのにおい嗅いだり。あんまりくさいって言わなかったな。エダマメのにおいって言ってた。それで頂上に行ったらちょうどちかりんのグループもいてヤッホーやってよかったんだけど、風が吹いてるからこだまが帰ってこなくて、下りる途中のところでやってみようって試したんだよ。そしたら帰ってきたんだよ。私としてはコロナで我慢してきた子ども達のストレス解消をさせてあげたいなと思っていたものですから、そういうところに重きを置いて、あとはいつもの定番で、ウラジロの飛行機とか、そのあとはそのまま捨てるんじゃなくておもちゃもできるよってということでバツタも作って、みんな自分で作ったんですよ。だいたい今まではこのくらいの長さで切るみたいなのが決まっているけど、すごい長いままの子がいて。でも長いままでもやってみたらいいと思うんですよ。やっぱり僕らが考えているこう常識的なことじゃなくて、どんどん応用してやっていけるから。そしたら、1 人がそういうのしたら、僕も大きいのがやりたいっていう子が出て、じゃあまた取りにいっちゃって。だから、園のまわりの草花や植物とかの遊びと山の遊びとはちょっと違ったかもしれないですけど。



ちかりん:山へは行きたいと思ったんだけど、最初にやっぱり色つけあたりで、小さいものを見たりとか、あと色つけたらちょっと匂いをかいだりとかっていう五感を使うところをしていきました。最初バツタ見つけてみんな触るからこの子達大丈夫じゃんと思って、クモも見せてクモも触ったんだけど、山の方に行ったらクモがいっぱいで、クモの巣こわい〜って感じではあったんですけど。大丈夫、なんにもしないよって。足を止めて

上を見ようって言って、空とか葉っぱがゆれるのを見たりしました。

この子たちの苦手意識をいかに取っ払えるのかっていうところにハードルがあって、今日の目的に私は到達できるのだろうかという不安を覚えながら、山頂に行きました。そして

ら、ひろじいのグループと会ってヤッホーしたら、あれよかったよね、トンビがすごい目の前を旋回して、それをわあって見て、あの時の子どもたちの目の輝きってというのがすごいなと思って、ちょっと普段は味わえないような体験だったなと思います。子どもたちの発見の面白さというところに関しては、人それぞれ興味がいろいろで、結局クリとドングリだけかなってという子もいたんだけど、見てみると、黒いのや茶色いのがあったり、小さいのがあったりって感じで、まあそれはそれでいいのかなって思いました。

あと虫はつかまえるのはちょっと抵抗あるみたいなので、手を差し出すと乗るよって感じでふれあいを楽しみました。で、たまたまユナイテッドの森の上ところにカマキリが隠れてて、あっているよって言ったけど、目の前にいるのに全然子ども見つけられないの。入れ代わり立ち代わり子どもが来るんだけど全然見つけられなくて、最後、ああこれだって言ってかくれんぼも楽しんで。あと影絵も、私がちょっとやったら、シダの枯れたのが好きな子がいて、それでやってくれて、そこに私が他の葉っぱでお魚さん来ましたとかやったら、他の子も来てくれて。そういうのだったら園でもできるのかなって、いろんな形でできるのかなと思いました。

ひろじい:それなら園でもできるね。虫食じゃなくたっていいし。

ちかりん:そうそう、いろんな形をね、長細いのやら、丸いのやら。

それで、下りるまえに一応宝物を確認したんですよ。そうすると、ポケットからクリとかドングリを出しちゃうから、やっぱり今日の宝物はいろんな遊びっていうところを意識して。1人女の子で本当に触れない子がいて、みんなその子が怖がりだってわかってるからとってあげて、はい、Ｙちゃんどうぞってやると触るわけ。あー、そうかと思って、で、その子にどうしたいって聞いたら、ハートの葉っぱを見つけたって言うから、じゃあ行こうって言ったらすぐ見つかって、それを服に貼りたいって言って貼ったんですよ。そしたら今度丸いのがいいって言って丸い見つけて貼って、それで上着をいろんな形で飾りたいって遊びが出てきて、そしたら、みんなも帽子に貼ったりとかっていうことで。あとはＹちゃんがお星さまの形が欲しいって言ったから、みんなでお星さまはあるかなって探したりして、すごいよかったなと思って。

ひろじい:その子は最初は触れなかったのが触れるようになったんでしょ。すごいじゃん。

ちかりん:それで、自分でそのお星さまを見つけた時に、シダなんだけどこわいって言って。手をとって一緒にとってあげたら、次はキノコまで自分でさわれたんだよ。

ちょっとその身近にもできるっていうところと、あとは子どもたちが山に登って、お腹が空いたこわい疲れたみたいな、そういうマイナスのイメージが残らないようにっていうのを意識しました。

こばちゃん:うちにも植物を嫌いだって、触れない子がいたんだけど、ちょっとずつ触れるように工夫して、自分でも花とか見つけられるようになってきたよ。虫については全然解消できなかったけど。

ちかりん:でもさ、ちょっと動くとかやっぱり虫はいるわけで、その中でこわがらずに遊べたっていうのもよかったかな。

ひろじい:うちはカナヘビが結構いたからつかまえようとしたり、あとカマキリね。結構男の子たちは捕まえてたけど、女の子は無理だったね。それと、途中まで行ってから袋がリュックの中にあることに気づいたのは失敗だったね。

じゅんじゅん:なんか、袋はなくてもいいかなって。

ちかりん:私も今日はない方がいいと思って袋はポケットに入れてもらってた。  
なんか入れるのに一生懸命になっちゃうもんね。

ひろじい:ただ、ドングリとかはいいけど、うちは黄色い花とかたくさん取って、あと葉っぱとかあったから、ポケットに入らないし。虫はカマキリくらいだったけど。

ちかりん:うちはミミズがいたよ。そしたらキャーとか言って。私がミミズは枯れ葉と一緒にこうやって持つといいよって言ったら触ったよ。その後、ミミズって冷たいと思う？温かいと思う？って聞いたら、冷たいっていう子と温かいっていう子がいたから、じゃあ、ちょっと触ってみようと、あんま触るとよくないんだよって言って、私がちょんって触ったら、女の子もちょんって触ってきやって。冷たかったとか言って、それもよかったかな。

普段来ていない園の子たちと遊ぶのも面白かった。かなり気を張ってないといけないけど。

こばちゃん:今日は全体的におしとやかな子が多かったかな。

じゅんじゅん:チームによってちがうね。うちは全然おしとやかじゃなかった。僕が見つけた私が見つけた、僕が見る私が見るっていう感じだったよ。みんな見れるから大丈夫だよって言うのが結構大変だった。

こばちゃん:うちはオオバコ相撲も、自分でオオバコをとらなくて、はい、あげるからやろうねって感じだった。おしとやかだったよ。

ひろじい:うちも静かだったから、今日はとにかくハメを外させようと思って。今日の目的にはあわなかったかもしれないけど。

ちかりん:あとで先生方にふりかえりを聞いてどうかな。楽しみだね。

—:先生方がすごい楽しそうにしてたから、それはすごくよかったなと思いました。

ちかりん:よかったよね。

こばちゃん:うちのところにいた先生も、子ども達といい関係でやってたよ。

—:ありがとうございました。